

栗原圏域の観光の現状

栗原圏域について

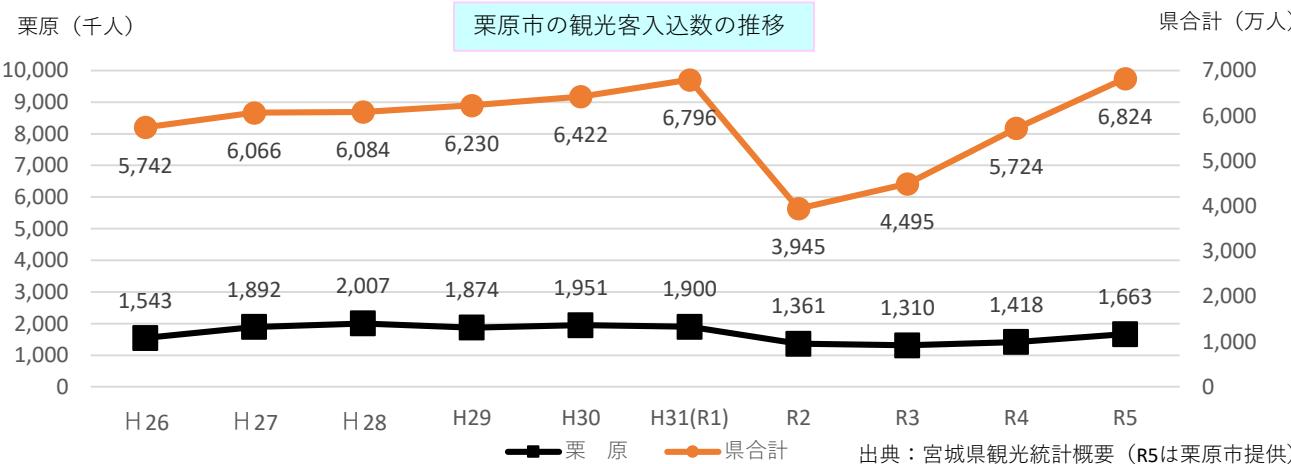
○栗駒山、伊豆沼・内沼などの豊かな自然資源や旧奥州街道など歴史的文化遺産、細倉鉱山関連施設の近代化産業遺産、日本ジオパーク認定を受けた栗駒山麓ジオパークの取組などを結びつけた観光ルートの構築等により「くりはら田園観光都市」の実現を目指している。

圏域の観光の現状

○観光客入込数は、岩手・宮城内陸地震と東日本大震災により大きく落ち込み、その後、令和元年には約190万人と岩手・宮城内陸地震前の水準に回復していたが、令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響等により、約136万人（対前年比約72%）と大きく減少した。  
○栗駒山や伊豆沼・内沼など、観光資源に恵まれているものの、観光客は「栗駒山の紅葉」や「伊豆沼・内沼のはす」など特定の時期に集中する傾向がある。また、「自然観賞型」観光が中心なことや、二次交通の不足による「通過型観光」等が影響し、消費活動に結びつきにくい状況にある。（第5期プランより抜粋）

（1）栗原市の観光客入込数の動向

□令和5年の観光客入込数は、前年（令和4年）比117.3%と回復傾向にあるが、令和元年比では87.5%であり、県全体（100.4%）と比較して緩やかな増加となっている。  
□エリア別・主要施設別では、コロナ前に回復している観光地もあるものの、観光地によって回復状況に差が見られる。



主なエリア・主要施設の観光客入込数

出典：宮城県観光統計概要（R5・一部施設は栗原市提供）

	H26	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	H31(R1)比
栗原全体	1,543,320	1,891,606	2,007,132	1,874,305	1,951,020	1,900,378	1,360,855	1,310,278	1,417,568	1,663,440	87.5%
栗駒山エリア											
栗駒山・いわかがみ平	82,447	126,281	168,660	151,410	163,450	143,350	129,280	93,720	111,260	139,890	97.6%
世界谷地原生花園	43,086	45,240	60,640	55,620	80,940	71,640	-	52,630	54,330	72,680	101.5%
ハイルザーム栗駒	41,444	43,704	39,469	33,931	22,478	17,120	17,120	16,311	14,619	19,377	113.2%
愛藍人・文字	5,061	6,375	4,639	2,438	3,062	3,144	3,047	2,336	3,028	3,291	104.7%
栗駒山麓ジオパークビジターセンター	-	-	-	-	-	-	9,808	10,925	13,392	17,666	-
山の駅くりこま	-	-	-	-	-	-	107,782	109,409	112,723	117,248	-
細倉メインパーク	40,235	40,808	78,309	56,230	71,760	63,163	31,092	30,187	39,131	46,983	74.4%
伊豆沼内沼エリア											
伊豆沼	79,283	99,104	123,000	112,300	105,400	113,200	71,500	90,110	68,050	87,160	77.0%
内沼	63,437	76,124	75,000	71,100	84,000	73,000	36,580	39,020	43,230	75,960	104.1%
伊豆沼・内沼サンクチュアリーセンター	30,371	36,637	42,992	37,726	33,247	33,493	25,222	30,544	28,488	32,551	97.2%
花山エリア											
国立花山青少年自然の家	90,633	64,372	64,889	64,380	64,108	62,185	12,288	16,760	23,540	28,568	45.9%
花山青少年旅行村	6,126	7,131	7,513	7,115	4,785	5,181	5,385	6,865	6,956	6,853	132.3%
湯湯温泉	28,084	27,192	27,571	26,575	26,000	25,780	19,279	23,187	18,177	25,028	97.1%
道の駅・路田里はなやま	150,705	168,000	160,570	145,678	148,344	135,433	154,739	124,917	129,071	128,459	94.9%

（2）栗原市の宿泊者数の動向

□宿泊者数は、令和2年を底に増加傾向にあるが、コロナ前までには回復していない。また、県全体と比較して緩やかな増加となっている。  
□施設別では「ホテル・旅館・民宿」はコロナ前の宿泊者数に回復しているが、「その他」の伸びが緩やかで回復までに至っていない。  
□県外からの宿泊者数の割合は令和4年以降増加傾向であるが、県内からの宿泊者数の割合は横ばいとなっている。  
□外国人宿泊者数は令和5年に入り増加しているものの、県全体と比較して緩やかな増加となっている。

